

2011年(平成23年)12月9日(金)



表面に無数の溝を彫ったダンスなどアート性の高い作品が並ぶ諸富家具コレクション—県立美術館

諸富家具コレクション

暮らしにアート性を

県立美術館

色や形の美しさを追求した家具を芸術作品として紹介する作品展「諸富家具コレクション」が、佐賀市の県立美術館で開かれている。朱と黒のコントラストが目立つダンスなど、6社が40点を展示している。入場は無料。1日まで。

諸富家具振興協同組合(佐賀市)の企画で、昨年に続き2度目。今回は、暮らしにアート性を吹き込む家具のかたちを提案し、諸富家具の技と魅力を感じてもらおう。朱色のダンスは、表面にノコギリで無数の溝を刻み、朱と黒を施した。色

の対比と溝が生み出す独特の手触り感が特徴。天板を歯車の形に加工した小型のテーブルは年輪が美しく、教壇をかみ合わせで置く面白さもある。産地活性化の取り組みとして九摩大(福岡市)の学生と共同製作した家具も紹介。口板の色を好みで変えられる本棚など、日常生活が楽しくなる10点が並んでいる。

(北島郁男)